

## クマの出没に注意しましょう！

これからの季節は、毎年クマの目撃情報や農作物への被害が報告される時期です。注意して行動することで、事故を防ぐことができます。

### クマと出会わないことが大切です

- ・家の周りに、残飯、生ごみなどを放置しない
- ・クマがいそうな場所に行かない
- ・早朝や夕方は特に注意し、一人で行動しない
- ・鈴、ラジオなどを身に付け、音を出しながら歩く

### もしもクマに出会ってしまったときは

- ・刺激しない
- ・クマに背を向けず、走って逃げない
- ・子グマには絶対に近づかない



## 鳥獣被害に困っている集落に対策の専門家を派遣！

鳥獣被害対策の専門家である「鳥獣管理士」から、被害軽減に向けて効果的なアドバイスがもらえます。イノシシ、サル、シカなどの有害鳥獣の習性や地域の被害状況に応じた対策(効果的な農・防除柵の設置・集落の環境改善)を地域の皆さんで学習しませんか。料金は無料です。集落単位での派遣になるので、ぜひ地域で検討してください。



## ハンターを目指すあなたへ～狩猟免許取得費用の助成～




▶対象 新たに狩猟免許を取得し、市が実施する有害鳥獣駆除活動に協力できる市民

免許の種類	対象経費	補助額
網猟免許	・事前講習会の受講料	対象経費の全額 (100円未満切り捨て)
わな猟免許	・受験料	
第一種銃猟免許	・医師の診断書作成料	
第二種銃猟免許	・その他(写真など)	



▶申込方法 申し込み窓口で配布している申請書と必要書類を持参

▶必要書類 誓約書、取得した狩猟免許写し、領収書の写し

▶申し込み  農林整備課、 産業観光建設課、 産業観光建設課

※試験の日時・場所・手続きなどの問い合わせは東北環境森林事務所 ☎0287(23)6363へ。




## 柵の設置で農作物を守る対策を！～設置費用助成～

野生鳥獣から農作物を守るための防除柵などの設置費用を助成します。

対象	対象経費	補助額
市民、3戸以上の団体、法人のいずれかで農業を営むもの	電気柵、金網柵、ネット柵などの設置、修繕、機能強化にかかる資材購入費	〈新規〉 対象経費の3分の2 ○上限額 個人：20万円、法人：30万円、 団体：100万円
		〈修繕・機能強化〉 対象経費の2分の1 ○上限額 10万円

▶申込方法 申し込み窓口で配布している申請書と必要書類を持参

▶必要書類 位置図、施工位置図、見積書、仕様書、カタログなど

▶申し込み  農林整備課、 産業観光建設課、 産業観光建設課



# 野生鳥獣被害対策を行いましょ

大切な命や農作物を守るためには、集落や田畑に近づかせないことが重要です。各種助成制度を活用してみませんか。

問い合わせ 市野生鳥獣被害対策協議会事務局(農林整備課内) ☎0287(62)7148

## ～叙勲・褒章受章～

# 長年の功績に栄誉

このほど叙勲・褒章が発表され、本市から6人の皆さんが受章されました。ここで、受章された3人の経歴とコメントを紹介します。

※3人は掲載を辞退。



更生保護功労  
市川 一男 氏(70歳)

平成5年から保護司として活動を始め、罪を犯した人の社会復帰の手助けや、再犯・非行防止活動を行っている。28年経った現在も更生保護活動を継続中。

「これまで支えてくれた先輩方のおかげであり、感謝しかありません」と、受章した気持ちを語ってくれた市川さん。保護司は、罪を犯した人の更生を図り、立ち直りを助けるボランティアです。「長年の活動の中で、社会復帰した人が保護観察期間の終了後も、自分を訪ねてきてくれたことが本当にうれしかった」と活動のやりがいを教えてくれました。

市川さんは、毎年7月に行われる、犯罪や非行などの防止を啓発する「社会を明るくする運動」で、積極的に広報活動も行っています。「保護司活動はまだまだ続けますよ」と、今後への思いを話してくれました。

「振り返ると、目の前に与えられた事柄に精一杯取り組んできた38年間でした。児童・生徒・保護者や同僚、地域の皆さんの支えがあってこそその教員生活でした」とほほ笑む市村さん。子どもたちの心を育てるためには教師が範を示し、「返事・あいさつ・履物をそろえる」といった「しつけの3原則」をモットーに指導。また、教育行政に従事したときには、その地区の特徴に合った教育活動が行われるように注力したそうです。「教師の言葉かけ一つで、子どもたちの様子は変わります。教材研究をして臨んだ授業で、生徒たちが楽しそうに学習する姿を見られた時は、励みになりました」と話してくれました。



教育功労  
市村 正司 氏(70歳)

昭和49年に中学校教諭として採用され、黒磯中学校の校長で定年退職するまでの38年間、教育現場と教育行政の両方の立場から、地域の教育の発展のために尽力した。

42年間の記憶を振り返り「命を救い、財産を守るという活動の目的を達成できたときが一番のやりがい」と話す平山さん。一方、尊い人命が救えなかった凄惨な場面もしばしばあったそうで、救命活動の厳しさや苦勞を語る場面も。受章の感想を伺うと「火災・救急・救助の現場に長く向き合うことができたのも、先輩や同僚の指導と、家族などの支えがあったからこそ」と、周りへの感謝をにじませながら、受章の喜びを噛みしめていました。

平山さんの趣味は園芸。一刻一秒を争う救命現場から、長い目で植物の命を見守る園芸活動に生活の軸を移し、現役時代とは異なるスローライフを送っているそうです。



消防功労  
平山 廣志 氏(70歳)

昭和45年4月、黒磯消防署に入署。退職までの42年間、国民の生命・身体・財産の保護のため消防業務に尽力した。平成24年3月、黒磯那須消防組合・消防本部消防監で退職。